令和４年 12 月１日（木)、本校で１学年の「新聞読み方講座」が行われました。
山形新聞社鶴岡支社長の古頭哲（ふるとう・さとし）氏が、新聞製作の工程や紙面のレイアウト、新聞が読者に届くまでの流れなどについて説明してくださいました。

生徒は、当日の山形新聞を１面から興味深そうにめくりながら、古頭氏の講義を聞いていました。
記事は全て大事なことから先に書く逆三角形の構成になっていることも初めて知りました。

最後に、生徒代表より「新聞を読む時のポイントなど、今後の学校生活に生かしていきたいと思います」とのお礼の言葉がありました。生徒にとって有意義な時間になったようです。
それでは、生徒の感想を少し紹介させていただきます。

- ○　新聞記事の書き方は読み手に伝わりやすいようにいろいろな工夫がされていて、見出しを縦にするか横にするかで全然違って見えた。
- ○　自然災害やスポーツの記事に関しては、その内容によって急に見出しが変わることがあるので、とても難しいということがわかりました。
- ○　１本の記事を書くために、200％の情報を集めるということにびっくりしました。